

9 申告書の記入例

(1) 償却資産申告書

1 住所 2 氏名
住所又は納税通知書送付先及び電話番号を記入し、ふりがなを付してください。ビル等の方書部分についてもふりがなを付してください。
これまで申告をされた方は印字されていますので御確認ください。

3 個人番号又は法人番号
個人の方は12桁の個人番号を、法人の場合は13桁の法人番号を右詰めで記入してください。

4 事業種目
事業の種目を具体的に記入してください。(例:印刷業、自動車販売業等)
法人の場合は、資本金又は出資金の金額も記入してください。

8~14 短縮耐用年数の承認等
各項目の有無について、該当する方を○で囲んでください。

受付印		令和 年 月 日		埼玉県 新座市長 殿		年度		償却資産申告書 (償却資産課税台帳)				
所 有 者	1 (ふりがな) 住所 (又は納税通知書の送付先)	〒352-0011 新座市野火止〇丁目〇-〇		(電話 048-〇〇〇-△△△△)		3 個人番号又は法人番号		4 事業種目 (資本金等の額)	卸売、小売業 (5,000,000 円)			
	2 (ふりがな) 氏名 (法人にあってはその名称及び代表者の氏名)	新座 太郎		(屋号 新座商店)		5 事業開始年月	昭和 62 年 4 月	6 この申告に应答する者の係及び氏名	新座 花子 (電話 048-〇〇〇-△△△△)			
						7 税理士等の氏名	埼玉 次郎 (電話 048-〇〇〇-□□□□)	13 税務会計上の償却方法	定率法・定額法 (有・無)			
資産の種類		取得価額		前年取得したもの (イ)		前年中に減少したもの (ロ)		前年中に取得したもの (ハ)		計 (イ+ロ+ハ) (ニ)		15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地
1	構築物	8,300,000				3,900,000				12,200,000		16 借用資産 (有・無)
2	機械及び装置											貸主の名称等
3	船舶											
4	航空機											
5	車両及び運搬具											
6	工具、器具及び備品	4,500,000	800,000			1,400,000				5,100,000		
7	合計	12,800,000	800,000			5,300,000				17,300,000		17 事業所用家屋の所有区分 (自己所有・借家)
資産の種類		評価額		決定価格		課税標準額		18 備考 (添付書類等)				
1	構築物								1 資産増減あり 2 増減なし 3 該当資産なし 4 廃業・解散・転出・合併等 (年 月 日) 5 翌年度手引き・申告書等送付 (要・不要)			
2	機械及び装置								<p>次のような事項を記入してください。</p> <p>①「短縮耐用年数承認書の写」、「増加償却の届出書の写」等、添付した書類の名称</p> <p>②住所、氏名等に異動があった場合は、異動年月日及び旧住所、旧氏名又は旧名称等の参考となる事項</p> <p>③納税管理人を定めている場合は、その方の住所、氏名</p> <p>④その他、この申告に必要な事項及び償却資産の評価について参考となるべき事項</p>			
3	船舶											
4	航空機											
5	車両及び運搬具											
6	工具、器具及び備品											
7	合計											

記入する必要はありません。
ただし、電算処理方式により申告される場合は記入してください。

連絡を差し上げる際に必要ですので、必ず記入してください。

(2) 種類別明細書 (増加資産・全資産用)

令和 年度

所有者名

所有者コード
500987654

種類別明細書 (増加資産・全資産用)

新座 太郎

枚のうち
枚目

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額 (イ)				耐用年数	減価残存率 (ロ)	価額 (ハ) ※				課税標準の特例率	課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月	十億	百万	千	円			十億	百万	千	円				
01	1		事務所 内装工事	1	5	3	9		1	500	000	10	0.						① 2 3.4		
02	1		アスファルト舗装工事	1	5	3	9		2	400	000	8	0.						① 2 3.4		
03	6		応接セット	1	5	3	10			400	000	8	0.						① 2 3.4		
04	6		テレビ	1	5	3	10			300	000	5	0.						① 2 3.4		
05	6		エアコン	2	5	3	10			700	000	6	0.						① 2 3.4		
06												0.							① 2 3.4		
07												0.							① 2 3.4		
08												0.							① 2 3.4		
09												0.							① 2 3.4		
10												0.							① 2 3.4		
11												0.							① 2 3.4		
12												0.							① 2 3.4		
13												0.							① 2 3.4		
14												0.							① 2 3.4		
15												0.							① 2 3.4		
16												0.							① 2 3.4		
17												0.							① 2 3.4		
18												0.							① 2 3.4		
19												0.							① 2 3.4		
20												0.							① 2 3.4		
小 計									5	300	000										

記入不要です。

【資産の名称等】
資産の名称は20文字以内で記入してください。

【資産の種類】
1 = 構築物
2 = 機械及び装置
3 = 船舶
4 = 航空機
5 = 車両及び運搬具
6 = 工具、器具及び備品

【年号】
令和に取得したものは「5」
平成に取得したものは「4」
昭和に取得したものは「3」

【耐用年数】
法人税及び所得税における法定耐用年数を記入してください。また、短縮耐用年数を記入される場合は、必ず「耐用年数の短縮承認通知書」の写しを添付してください。

【増加事由】
1 = 新品取得
2 = 中古取得
3 = 移動による受入れ
4 = その他

【取得価額】
当該資産の取得価額を記入してください。
なお、圧縮記帳は固定資産税の評価上、認められていませんので圧縮額を含めた取得価額を記入してください。

【摘要】
当該資産について、次のような事項を記入してください。
①資産の申告もれがあった場合は、その旨の表示 (例: 申告もれ分)
②課税標準の非課税・特例がある資産については、その適用条項 (例: 法第349条の3第1項)
③耐用年数の変更があった場合には、その旨の表示
④短縮耐用年数を適用している資産については、その旨の表示 (例: 短縮)
⑤増加償却を行っている資産については、その旨の表示 (例: 増加償却)

記入する必要はありません。
電算処理方式により申告される場合は記入してください。

(3) 種類別明細書（減少資産用）

年度

所有者名

所有者コード
500987654

種類別明細書（減少資産用）

新座 太郎

枚のうち
枚目

行 番 号	資 産 の 種 類	抹 消 コ ー ド	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月			取 得 価 額	耐 用 年 数	申 告 年 度	減 少 の 事 由 及 び 区 分				摘 要		
					年 号	年	月				1 売 却	2 滅 失	3 移 動	4 そ の 他		1 全 部	2 一 部
01	6	54	応接セット	1	5	3	3	300 000	8	4	1・2・3・4	3	1・2	朝霞市へ移動			
02	6	110	エアコン	5	5	3	3	500 000	6	4	1・2・3・4	2	1・2	当初取得価額50万円(数量5)のうち20万円(数量2)分減少			
03											1・2	3・4	1・2				
04											1	3・4	1・2				
05											1	3・4	1・2				
06											1	3・4	1・2				
07											1	3・4	1・2				
08											1	3・4	1・2				
09											1	3・4	1・2				
10											1	2	3	4	1	2	
11											1	2	3	4	1	2	
12											1	2	3	4	1	2	
13											1	2	3	4	1	2	
14											1	2	3	4	1	2	
15											1	2	3	4	1	2	
16											1	2	3	4	1	2	
17											1	2	3	4	1	2	
18											1	2	3	4	1	2	
19											1	2	3	4	1	2	
20											1	2	3	4	1	2	
小 計								800 000									

【抹消コード】
種類別明細書（資産用）に記載してある資産コードを必ず記入してください。

【年号】
令和に取得したものは「5」
平成に取得したものは「4」
昭和に取得したものは「3」

【減少事由及び区分】
当該資産が減少した事由を○で囲んでください。

【取得価額】
当該資産の取得価額を記入してください。なお、一部減少の場合は減少する額を記載し、摘要欄に残額を記入してください。

【資産の種類】
1 = 構築物
2 = 機械及び装置
3 = 船舶
4 = 航空機
5 = 車両及び運搬具
6 = 工具、器具及び備品

【摘要】
当該資産が減少した事由により、「1. 売却」にあつてはその売却先の名称等、「2. 滅失」にあつてはその滅失の理由等、「3. 移動」にあつてはその受け入れ先の所在地等、「4. その他」にあつてはその減少の事由等を記入してください。